増穂小学校 校内研究の概要

1 研究主題

充実感をあじわえる授業の創造

-「できた!」「わかった!」を実感できる算数科の学習をとおして一

2 算数科で目指す児童像

- ○用語の意味や定義を納得して理解し、適切に使うことができる子ども
- ○仕組みや構造がわかり、論理的に考えることができる子ども
- ○方法を工夫し、自らの力で問題解決ができる子ども
- ○学習の成果を生かして,新たな課題に意欲的に取り組むことができる子ども
- ○教科の特性にふれ、学習を楽しむことができる子ども

3 研究仮説

算数科の学習をとおして、全員で楽しく学び「できた!」「わかった!」を実 感できる授業を創造していけば、充実感をあじわわせることができ、学力が向上 するであろう。

4 研究の内容

- (1)子ども達が「できた!」「わかった!」を実感する授業の研究
 - ○学力向上に向け、教材の本質を捉えた「教えること」「考えさせること」を 明確にした授業を目指す。
- (2) 子ども達全員が楽しく学ぶ授業の研究
 - ○算数が得意な子どもも苦手な子どもも共に,「考えたくなる」「発言したくなる」教材や授業展開,指導法の研究を深め,子ども達の「学習意欲」「思考力・表現力」の向上を図る。
 - ○一斉指導と個別指導の在り方について研究を深め,「知識・理解」の一層の 定着を図る。

5 研究の重点

- (1) 教材研究の充実
- (2) 学習指導案の作成・検討、授業研究会を通した研究の充実
- (3) 授業を公開し合うことで授業力を高める「ミニ授業研究」の充実
- (4) 児童の学びを支える専門部研究(授業研究部会,家庭との連携部会,調査研究部会)の充実
- (5) 各種調査の活用

学校教育目標 具現化へ

ふるさと増穂を愛し

心ゆたかで かしこく 心身ともにすこやかで たくましい子の育成



目指す児童像の 具現化へ



目指す児童像

- まじめに夢に向かって、自ら学びつづける かしこい子
- **⑦** すすんで、人や自然とふれあう 心ゆたかな子
- ほんきで取り組み、最後までやりとげる気力 体力をもつたくましい子

充実した授業創造のための視点

教 師:指導方法研究による指導力向上

児童:基礎・基本・学び方の定着

教 材:適切な教材の研究・開発

環境:言語・教室・掲示等の整備

知識や技能を身につけることができる。

身に付けた知識・技能を 活用し、問題解決する 見通しをもち筋道を立てて考え、 表現することを通して問題解決する

見通しをもち筋道を立てて考えることができる。

「**できた!」「わかった!」を実感** 「できる楽しさ」「わかる楽しさ」



相乗効果



充実感をあじわえる授業の創造

ー「できた!」「わかった!」を実感できる算数科の学習をとおしてー

「総合」・生活科 探究的活動の充実 培う力の明確化 追究・思考するカ

担先・心与する力 表現する力 伝え合い、学び合う力

言語力・国語力向上

「算数科の中で」目指す児童像

- 〇 用語の意味や定義を納得して理解し、適切に使うことができる子ども
- 仕組みや構造がわかり、論理的に考えることができる子ども
- 方法を工夫し、自らの力で問題解決ができる子ども
- 学習の成果を生かして、新たな課題に意欲的に取り組むことができる子ども
- 算数の特性にふれ、学習を楽しむことができる子ども

学ぶことの楽しさを感じ、学習の充実感をあじわう

学力向上

「見える学力」 : 学んで身に付けた力 : 基礎的·基本的な知識及び技能

「見えにくい学力」 : 学ぶ力 : 思考力・表現力

「見えない学力」 : 学ぼうとする力 : 主体的に学習に取り組む態度